

製品名: MAPK10 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81699**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	52.6kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK10
別名	JNK3; JNK3A; PRKM10; SAPK1b; p493F12; p54bSAPK
遺伝子 ID	5602.0
SwissProt ID	P53779
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAPK10 (AA: 180-329) の精製された組み換え断片。

背景

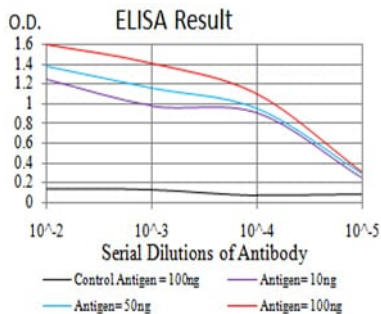
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAP キナーゼファミリーのメンバーです。MAP キナーゼは、複数の生化学シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、多様な細胞プロセスに関与しています。このキナーゼは、神経系の

ニューロンのサブセットで特異的に発現し、スレオニンおよびチロシンのリン酸化によって活性化されます。マウスにおけるこの遺伝子の標的欠損は、ストレス誘発性のニューロンアポトーシスに関与している可能性を示唆しています。この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。最近の研究では、この遺伝子における翻訳リードスルーと、代替的なインフレーム翻訳終止コドンの使用を介したC末端延長型アイソフォームの発現の証拠が示されました。

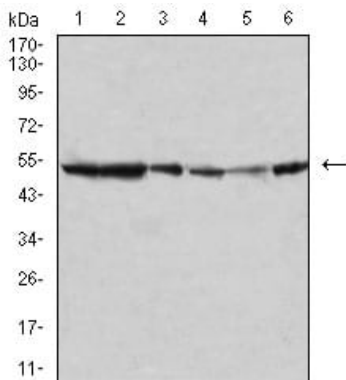
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



HEK293 (1)、Hela (2)、SK-N-SH (3)、MCF-7 (4)、Jurkat (5)、および C6 (6)細胞溶解物に対する MAPK10 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。